

ヒートポンプ・蓄熱技術の普及に向け多国間ネットワークを設立

経済成長に伴いアジアの国々では電力の不足状態が長年続いています。その大きな要因は冷房用電力需要であり、ヒートポンプ・蓄熱技術は、昼間の空調電力を大幅に削減することが可能で昼間電力抑制に大変有効である上、省エネルギー、省CO₂を同時に図ることもできます。同技術のアジアにおけるいっそうの普及促進・発展を目的として、2011年10月4日、KKRホテル東京に於いて、日本からの呼びかけによりアジア主要国（中国・インド・韓国・ベトナム）のヒートポンプ関係者が集まり「アジア・ヒートポンプ・蓄熱技術ネットワーク」を設立致しました。



当面は当センターが事務局を務め、ネットワークを通してアジア各国と緊密な情報関係をとりながら、同技術の普及促進を図ってまいります。主な活動内容は、ニュースレターの発行、普及に向けた課題の把握と解決、最新技術・市場動向等の情報共有、冷媒管理も含めた技術的課題の整理と対策等に取り組みます。将来的には技術

交流会、共同プロジェクトやイベントの共催等の活動も展開していく予定です。また、今後は今回の5カ国以外のアジア各国にもネットワーク参加を呼びかけ、参加国を増やしていきたいと考えています。